

CASIO

P

IQ-180W

取扱説明書

このたびは弊社製品をお買い上げくださり誠にありがとうございます。未長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。

本機を安全に正しくお使いいただくための注意事項「安全上のご注意」を本書に記載しています。本機をご使用になる前に、必ずお読みください。なお、この取扱説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

カシオ計算機株式会社

〒151-8543 東京都渋谷区本町 1-6-2

本機の特長

- 防湿・防塵構造
- 置時計／掛時計兼用

ご使用上の注意

- 本機は精密な電子部品で構成されていますので、「極端な温度条件下」、「強い磁気の当たる場所」、「はげしい振動のある場所」での使用や保管および「強いショック」を避けてください。
- 高温では電池寿命が短くなったり故障の原因になったりしますので、暖房器具の近くや直射日光の当たる所では使用しないでください。
- 浴室などの、直接水のかかるおそれのあるところでは使用しないでください。
- 以下のようなところに本機を置くことは避けてください。
 - ・テレビの近くなど（テレビ画面に色むらが起こる場合があります）
 - ・時計、キャッシュカード、プリペイドカードの近くなど
- 極度の静電気により誤った表示をしたり、電子部品が破損する場合があります。
- 本機を分解しますと、精度や機能が低下しますので、絶対に分解しないでください。
- 汚れは、「乾いた柔らかい布」か「中性洗剤に浸し固くしぼった布」でおふきください。シンナー・ベンジンなどの揮発油やアルコール類では絶対にふかないでください。

《液晶表示が付いている製品の場合》

- 静電気により一時的に液晶の点灯していない部分ににじみ現象が発生することがありますが、機能に影響はありません。
- 液晶表示は、使用温度範囲（0℃～40℃）を超えると、表示が見にくくなる場合があります。
- 液晶表示は、見る方向によって表示が見にくくなる場合があります。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

電源に関するご注意

- 電池の残量が残っている場合でも1年に1回は電池（全部）を交換してください。
- 電池が消耗しますと一般的に以下のようなことが起こります。このようなときは長時間放置せず、速やかに新しい電池と交換してください（定期的な交換をおすすめします）。
 - 誤動作（時刻やアラームなどのリセット、報音の停止、時刻狂いなど）することがあります。
 - 液晶表示は「薄くなったり」「消えたり」します。
 - アナログ時計は「時計が遅れたり」「針が止まったり」します。
- 付属の電池は充電式ではありません。絶対に充電しないでください。
- お買い上げ時に付属している電池はモニター用電池*のため、電池新品時の電池寿命に満たないうちに切れることがあります。
 - *モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。

※電池が液漏れを起こした場合は液に触れずすぐにふきとってください。

安全上のご注意

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

 **危険** 死亡または重傷を負う可能性が大きい内容を示しています。

 **警告** 死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

 **注意** 軽傷を負う可能性および物的損害が発生する可能性がある内容を示しています。

絵表示の例

 △記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています。

 ⊘記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています（左の例は分解禁止）。

 ●記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています。



警告

袋をかぶって遊ばない

⊘ 製品本体が入っていた袋は、お子様がかぶって遊ばないように、手の届かない所に保管または廃棄してください。窒息の原因になります。

電池について

❗ **電池から漏れた液が皮膚や衣服についたら、きれいな水で洗い流す。**

目に入った場合は、失明などの恐れがあります。洗い流した後、すぐに医師の診察を受けてください。

⊘ **乳幼児の手の届く所に電池を置かない。**
お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。



警告

置き場所・使用場所について

⊘ **次のような場所に置かない、使わない。**
火災・感電の原因となります。

- 暖房器具の近く、ホットカーペットの上、直射日光が当たる場所、炎天下の車中など本機が高温になる場所

⊘ **不安定な場所に置かない、不確実な掛け方をしない。**
落下・転倒時には、けがの原因となります。

分解・改造しない

⊘ **本機を分解・改造しない。**
けがの原因となります。



注意

電池について

破裂による火災・けが、液漏れによる周囲の汚損を防ぐため、次のことは必ず守る。

⊘ ●分解しない、ショートさせない

⊘ ●充電しない

⊘ ●新しい電池と古い電池を混ぜて使わない

⊘ ●種類の違う電池を混ぜて使わない

⊘ ●加熱しない、火の中に投入しない

⊘ ●本機で指定されている電池以外は使わない

❗ ●極性（+と-の向き）に注意して正しく入れる

❗ ●長時間使用しないときは、本機から電池を取り出しておく

❗ ●電池が消耗した場合は、速やかに電池を交換する

⊘ **電池が液漏れしたまま使用しない。**

火災・感電の原因となることがあります。すぐに本機の使用をやめて「修理に関するお問合せ先」に連絡してください。

電池の着脱を長く伸ばした爪で行うと、思わぬけがをおこす恐れがありますので、長く伸ばした爪での着脱はおやめください。

防湿・防塵性能を保つために

1. 防湿・防塵時計は、通常の時計より防湿性を高めております。台所などの湿気のある場所やほこりのある場所でもご使用いただけますが防水時計ではありません。
以下の場所では、ご使用になることはできません。

- 直接水がかかるおそれのあるところ（浴室やプールなど）。

- ガスの発生する温泉。

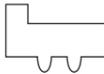
- 大量の油を長時間使用する場所（厨房など）。

2. ゴムパッキンと裏ぶたの間に、シリコンオイルが塗ってあります。オイルがなくなりますと開閉が固くなりますので、拭き取らないでください。またこのオイルは無害なものです。手などについた場合は、水で洗い流してください。

3. ゴムパッキンは表裏があります。外れてしまった場合は正しい向きで取り付けてください。

ゴムパッキン断面図

裏蓋側



ケース側

4. ゴムパッキンは位置がずれてはみ出さないように取り付けてください。

5. ケース、ゴムパッキン、裏ぶたの間に異物を挟まないようにご注意ください。

6. 裏ぶたの開閉は指定の位置（OPEN / CLOSE）まで確実に回してください。

●結露について

●通常の時計より防湿性を高めておりますが、内部で結露（時計内部の水蒸気が水滴になること）が発生する場合があります。これ为了避免するため、裏ぶたの開閉を行う際には、湿度の高いところは避けてください。

●時計が急冷された場合などにガラスの内側が曇ることがあります。このときすぐに曇りがなくなるようであれば特に問題ありません。

●曇りが消えなかったり、水分が時計内部に浸入した場合は、直ちに修理が必要です。時計内部に侵入した水分は、電子部品や機械、文字板などを破損する原因になります。

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz

表示内容：時・分・秒（3針）

精度：平均月差±20秒以内

付属品：壁掛け用ネジ、スタンド

主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子、CMOS-LSI

使用温度：-10℃～50℃

使用電池：単3形マンガン乾電池（R6P）1個

電池寿命：約1年

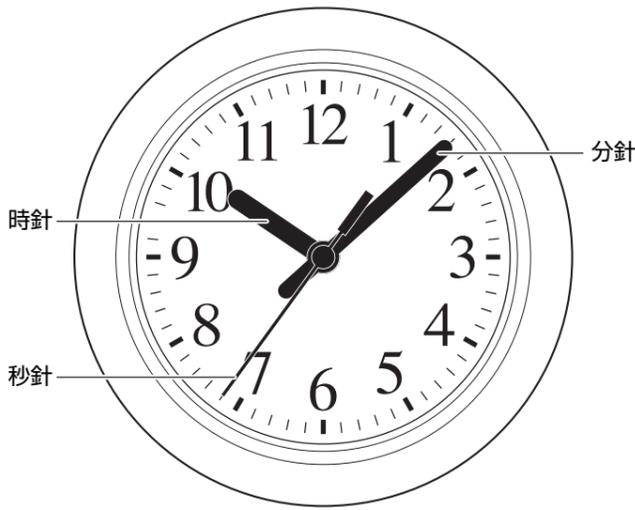
●本機は、マンガン乾電池またはアルカリ乾電池の特性に合わせて設計されています。充電式電池は、使用しないでください。初期電圧が低く、電池の特性が合わないため、使用すると本機が正常に動作しない、または電池寿命が極端に短くなる場合があります。

各部の名称

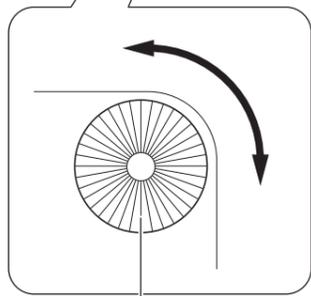
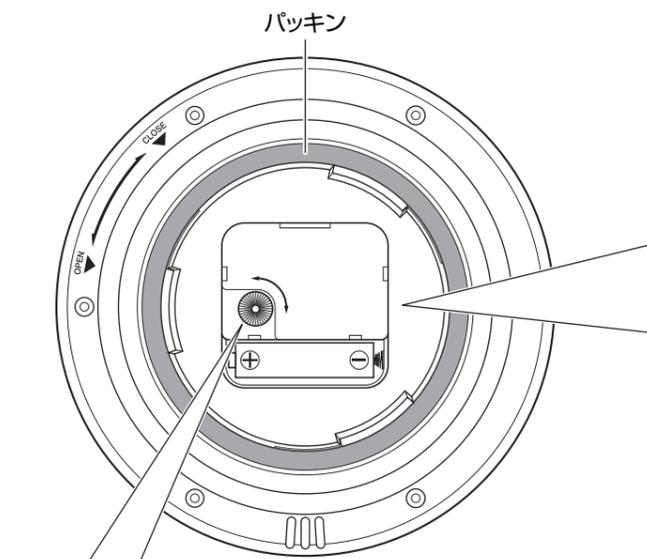
● 図は操作説明用ですので、実際の製品とはデザインなどが異なることがあります。

(表面)

(アナログ部: 時計、分針、秒針)



(裏面 裏ぶたを開けたところ)



針回しツマミ※(手動)
・時刻を修正するときに使います。

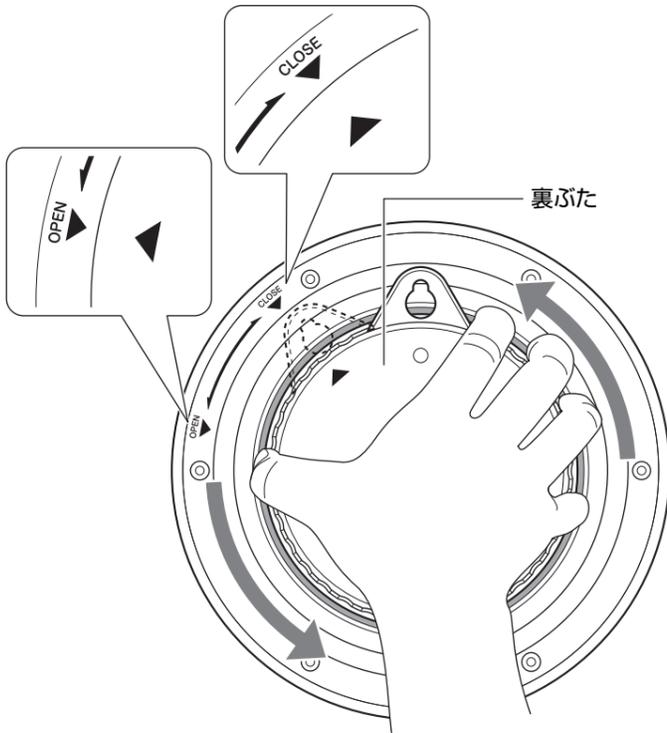
● 電池交換のしかた

裏ぶたの開け方

- 裏面の裏ぶたを矢印方向に回してはずします(反時計回り)。裏ぶたの“▼”マークが外ケースの「OPEN」にくるまで回します。
- 古い電池を抜き取ります。
- 新しい電池の⊕⊖を間違えないように⊖側から入れてください。
- 裏ぶたの“▼”マークを外ケースの「OPEN」に合わせてから、はずすときは逆に回して取り付けます(時計回り)。

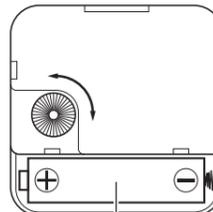
<注意>

- 必ず、裏ぶたの“▼”マークを外ケースの「CLOSE」に合わせてください。落下や湿気の侵入の原因となります。
- パッキンに汚れやゴミが付着したまま取り付けますと、防湿性が低下しますので、乾いた柔らかい布で汚れやゴミをふきとってから裏ぶたを取り付けてください。

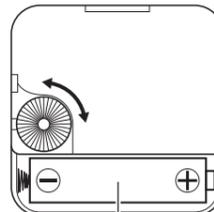


電池の入れ方

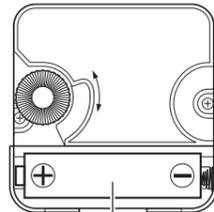
<タイプ1>



<タイプ2>



<タイプ3>

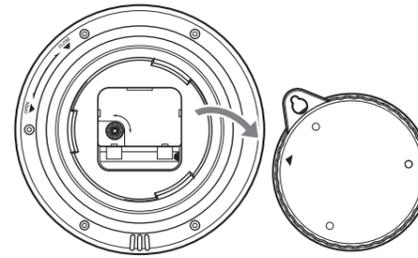


単3形マンガン乾電池 (R6P) 1個

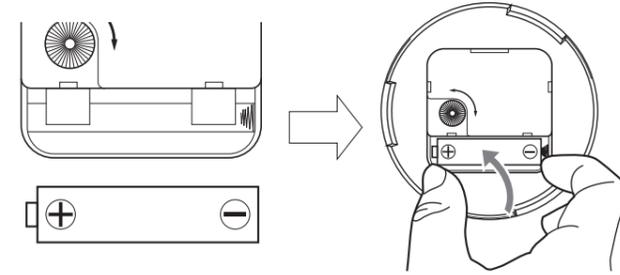
※ 針回しツマミを操作するときは落下によるけが、および器物の破損を防止するためにも、必ず本機を壁から取り外して操作してください。

時刻の合わせ方

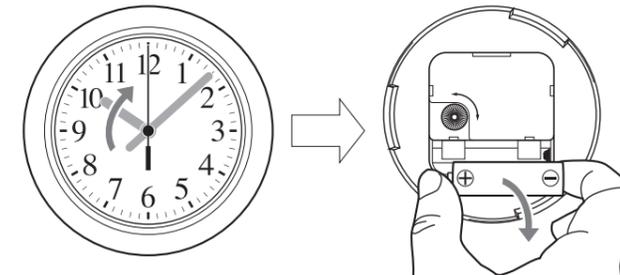
1 裏ぶたを開けます(「裏ぶたの開け方」参照)



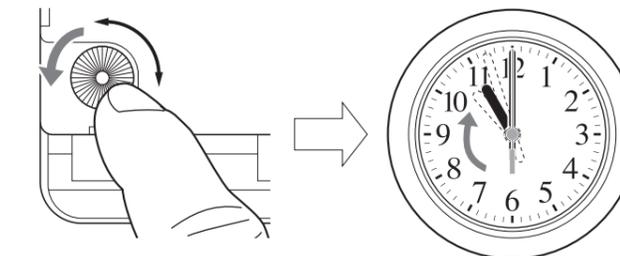
2 電池を正しい向きで入れます



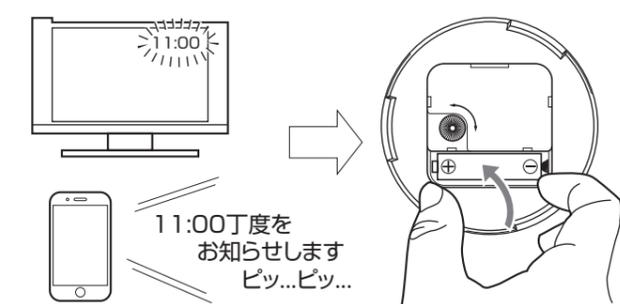
3 秒針が12時の位置にきたとき電池をはずします



4 針回しツマミで時刻を合わせます



5 テレビや電話の時報に合わせて電池を入れます



● 電池を入れるタイミングによって、多少の誤差を生じることがあります。

本機の取り付け方

時計を取り付ける場合、壁や時計を汚したり痛めることがありますのでご注意ください。

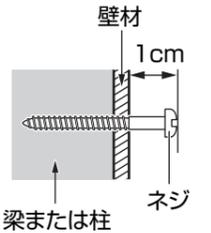
1 ネジを壁に取り付けます(図①、②)

図①



照明の
当たる場所

図②



壁材

1cm

ネジ

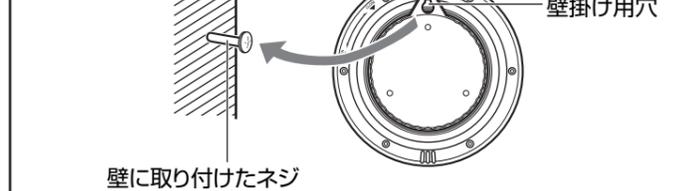
梁または柱

取り付ける場所は部屋の照明が当たる場所をおすすめします(図①)。ねじが梁を通っている壁面または柱にしっかりねじ込みます(図②)。

- 取り付ける前に壁の材質・構造をご確認ください。付属のネジは指定の場所(梁、木の柱、木質の厚い壁)以外に使用しないでください。指定の場所以外に使用した場合、落下によりけがをすることがあります(石膏ボード・コンクリート・薄い化粧ベニヤ板などには使用できません)(図②)。

2 時計をネジに掛けます(図③~図⑤)

図③

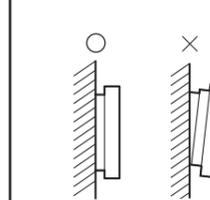


(裏面)

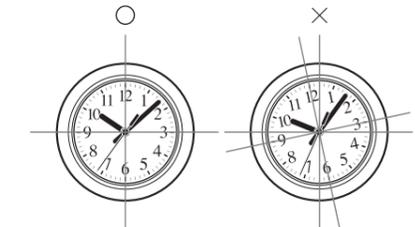
壁掛け用穴

壁に取り付けたネジ

図④



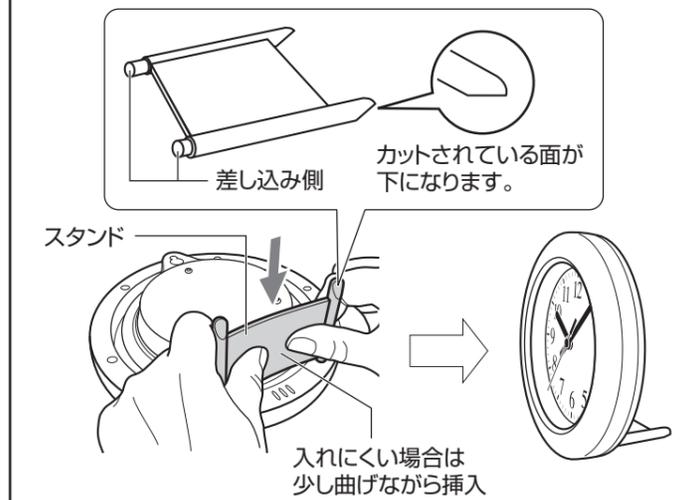
図⑤



- 時計を取り付けた際、上下左右そして手前に軽く動かし正しく取り付けられていることを確認してください。正しく取り付けられていない場合、落下によりけがをしたり、器物を破損することがあります(図④、図⑤)。

● スタンドの使い方

- 本機をテーブルなどの平らな場所に置いて、スタンドを時計本体の裏側にあたるネジ穴に差し込んでください。



スタンド

入れにくい場合は
少し曲げながら挿入

- スタンドを使用しないときは本体より取り外し、大切に保管してください。